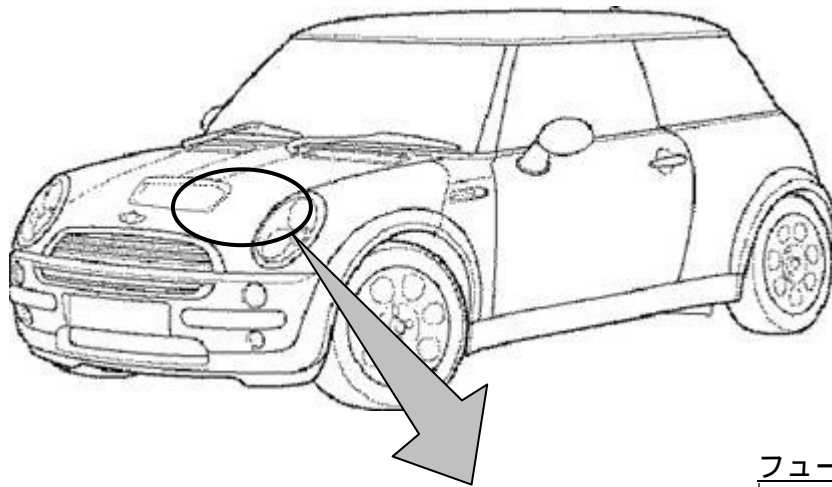


改善箇所説明図



フューズボックス

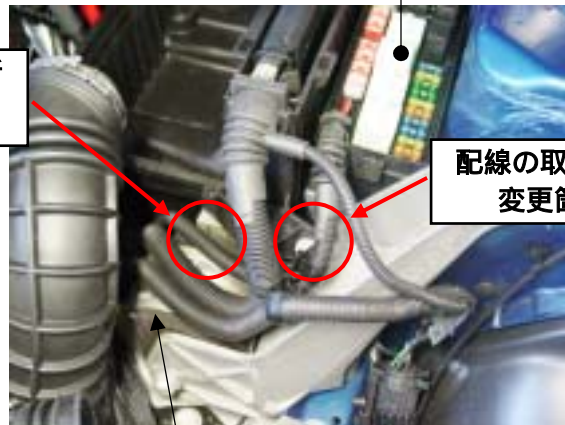
基準不具合発生箇所
(電気配線)

配線の取り回し
変更箇所

配線の修理

ギボシ

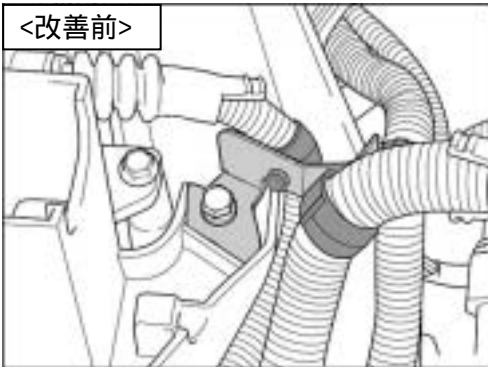
収縮チューブ



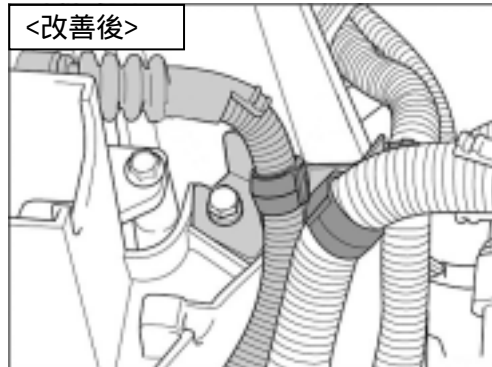
トランスミッションマウント

配線の取り回し変更

<改善前>



<改善後>



改善措置の内容

全車両、配線の取り回しを変更する。なお、配線の損傷状態を点検し、損傷している場合は修理する。

識別：作業完了車には、左ストラット タワーのボルトへ黄色ペイントマークを塗布する。

不具合の内容

エンジンルーム内の電気配線の取り回しが不適切なため、トランスミッションマウントに当該配線が干渉するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、原動機の振動等により配線が損傷し、短絡をしてフューズが溶断し、最悪の場合、原動機が停止し再始動不能となるおそれがある。